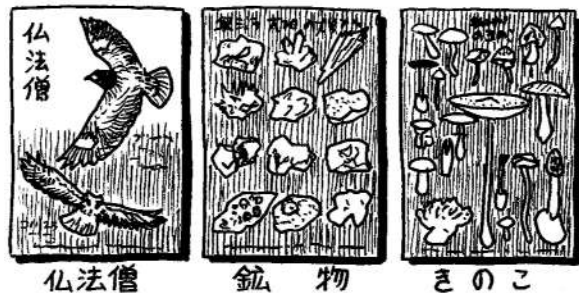


# 60周年の秋

博物館特製オリジナルクリアファイル  
(令和5年9月23日、販売開始)



60周年記念にあたり職員が考案したミュージアムグッズです。仏法僧、鉱物、きのこの3種類で、3枚/組で販売をしています。200円です。

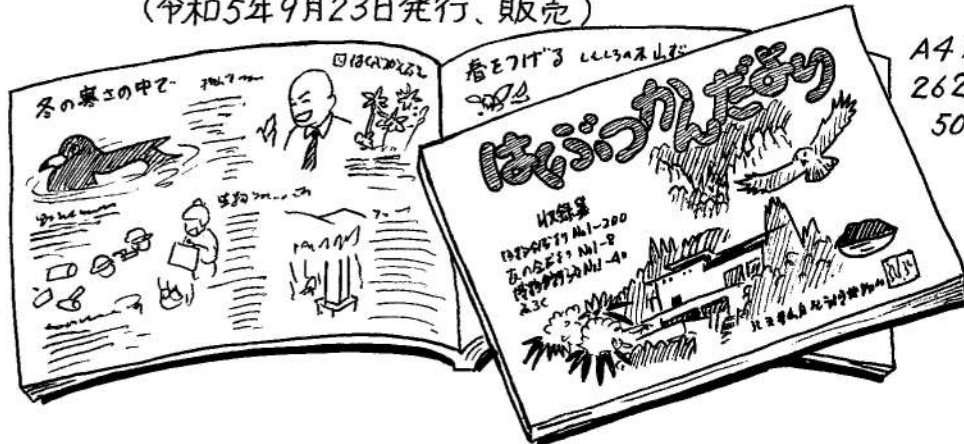
ジオリア「鳳来寺山の地質」  
-土台から海の時代まで-  
(令和5年9月24日、はれ、33名)

博物館の展示で学習した後、現地へ向かいました。初めに、約1800万年前の海の時代に堆積した地層を観察し、次に時代をさかのぼるように田代まで移動しました。ここでは、この地域の土台をつくっている花崗岩を観察しました。断層をはさんで大きく変わる岩石や地形を歩いて確かめることができました。



田代の花崗岩にできた  
釜淵の滝  
(清崎花崗岩)

開館60周年記念出版「はくぶつかんだより収録集」  
(令和5年9月23日発行、販売)



A4版  
262ページ  
500円

はくぶつかんだよりNo.1~200、友の会だよりNo.1~8、博物館ザッ記No.1~40、付録に動植物、きのこ、地形などの絵図を収めてあります。昭和63年から令和5年までの、博物館と自然の出来事を手書きのイラストと文でまとめた、35年間のスケッチです。



きのこ展(令和5年9月24日~10月8日)

35年間続く恒例の特別展です。今年は初秋の真夏のような暑さと乾燥で、きのこの発生が悪く、実物標本が少なめの展示になりました。

野外学習会「秋のきのこ観察会」  
(令和5年9月23日、はれ、32名)

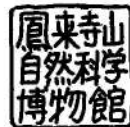
桜淵の青年の家周辺で開催しました。うでこき山では珍菌のコウボウフデを見ることができました。

コウボウフデは卵形の幼菌から柄を伸ばしますが、傘は作らずに柄の先端に胞子をつくる変わったきのこです。

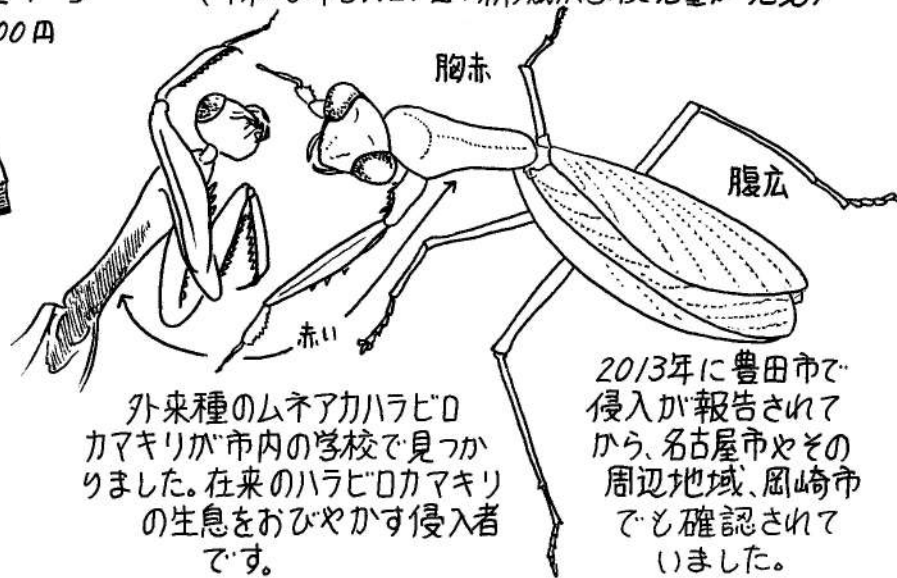
学校の利用・ガイド・研修受入

- 8月14~20日 学芸員実習(竹川さん)
- 9月1日 名城大学学芸員研修(50名)
- 7日 鳳来寺小2年生、博物館見学(9名)
- 11日 鳳来寺小出前教室(8名)
- 14日 田原市南部小、博物館見学(35名)
- 18日 博物館ガイドツアー(一般5名)
- 30日 静岡大学、博物館見学(42名)

# 博物館ザッ記 No.42



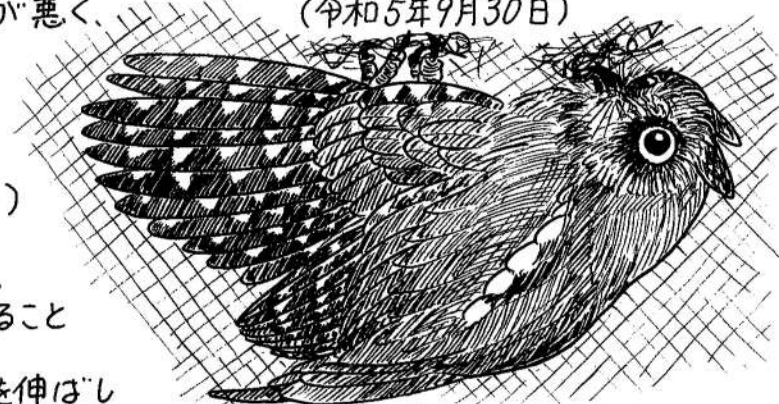
ムネアカハラビロカマキリを確認  
(令和5年8月29日、新城小学校児童が発見)



外来種のムネアカハラビロカマキリが市内の学校で見つかりました。在来のハラビロカマキリの生息をおびやかす侵入者です。

2013年に豊田市内で侵入が報告されてから、名古屋市とその周辺地域、岡崎市でも確認されていました。

オオコリハズク網にかかる  
(令和5年9月30日)



この日の朝、職員が出勤すると、コリハウス内で保護飼養しているオオコリハズクが天井の網に張りついたようになっていました。

近付いて見るとクチバシが寒冷紗の細かな網目にかかり、身動きが出来なくなっているようです。

網から切り離して救出しましたが、もがいて体力を消耗したのか飛ぶことも止まり木に立つこともできない状態でした。室内で回復させ、無事復帰できましたが、あの夜何をしようとしたのでしょうか。

野外学習会「初秋の虫探し」  
(令和5年9月10日、くもり、21名)

作手鬼久保広場で開催しました。湿地や池があり、トンボ類も多かったですが、なかなか捕らえることができませんでした。



ショウジョウバト